

## 各位

党派を超えて国家的課題を追求する

# 公益財団法人協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫  
両団体理事長 半 田 晴 久  
交通部会長 松 本 治 男  
専務理事 清 原 淳 平

## 交通部会のお知らせ(第250回)

日時 平成29年5月30日(火) 午後1時半～3時半  
場所 参議院議員会館 地下1階 B105会議室  
千代田区永田町2-1-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・南北線)①番出口より下車5分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車2分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「B105会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

- 議 題
- 1、最近の交通情勢について想う  
挨拶 松本治男 交通部会長(元近畿管区警察局長)
  - 2、安全運転サポート車の普及啓発に関する関係省庁副大臣等会議の中間とりまとめについて
  - 3、信号機の停電対策及び環状交差点について
  - 4、交通事故統計(4月末及び5月29日まで)  
解説 警察庁交通企画課 落合大地課長補佐(警視)

報 告 去る4月27日開催の第249回交通部会は、松本治男部会長が議長を務め行われました。

まず、松本部会長から、「最近の交通情勢について想う」と題して開会挨拶がありました。あるテレビで、高速道路の運転中における脳の働きについて解説があった。事故を起こした人の脳を分析すると、半数以上が、1時間半以内で一種の催眠状態に陥ったという。対策は、1時間おきに休憩をとり、車間距離を十分に取ることである。また、SAやPAなどで4秒間運動も推奨されている。

次に、警察庁交通局交通企画課 落合大地課長補佐（警視）より、「自動運転の段階的実現に向けて」について解説がありました。2020年までに、高速道路上における自動走行の実現を目標に、現段階での法律上・運用上の課題を検討している。例えば、運用面では、高速道路への合流の際、加速するときの最高速度や渋滞時の合流方法など。運転免許や刑事上の責任といった法整備などの問題がある。遠隔監視・操作者が1人で複数台の車両を同時に監視・操作する場合の果たすべき義務のあり方についても、全面施行になった折にはどう対処するのか検討して行く。また、緊急停止時の操作のあり方、トラックの隊列走行に対する対応なども今後の検討課題となる。

次に、「平成29年春の全国交通安全運動の実施」について解説がありました。春の全国交通安全運動は、4月6日～15日の10日間にわたって実施された。期間中の発生件数は約820件減少、負傷者数は約1千人減少、死者数は、74人で前年比36人の減少となった。子供（15歳以下）の死者は0人、65歳以上の死者数も38人で24人の減少となるなど、運動の基本としていた子供と高齢者の交通事故防止はある程度の成果を挙げたと言える。飲酒事故も半分近く減らし、死者も1名であった。

次に、「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令の一部を改正する命令案」について解説がありました。訪日外国人の増加や東京オリンピック・パラリンピックに向け、一時停止標識と徐行標識に英字を追加した。意見公募によって、英字の書体を変更した。7月1日より施行予定である。

部会前日（4月26日）までの死者数は1081人で、前年比117人の減少。4月中も現段階で59人の減少と、年間通して大きく減少傾向は続いている。

この後、委員一同にて盛んな意見交換があり、有意義な会合となりました。

★ 資料代 会員500円、非会員2000円  
次回、5月30日（火）の交通部会（参）に

出・欠（いずれかに○印）

事務局宛 F A X 03-3507-8587

御芳名 \_\_\_\_\_

貴方様の F A X \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

**テロ対策への警備から、非会員で参加希望の方は、必ず、前日までに事務局へ御連絡下さい。**

HP <http://www.jidaisassin.jp> Eメール [kiyohara@jidaisassin.jp](mailto:kiyohara@jidaisassin.jp)